



点鐘	小林 秋生 会長
SAA	依田 晋一郎 委員長
ソング	我らの生業
ゲスト	小諸市観光ガイド協会理事 沼田 豊久様

【会長挨拶】 小林秋生 会長

残暑が続いておりますが、それでも昨今は朝夕の涼しさが感じられ、少し秋の気配も出てきたようですが、皆さんはいかががお過ごしでしょうか。

先週は楽しみにしていた家族納涼夜間例会が、無事開催を終えました。

準備にご苦労された委員会の皆さん、そしてご協力、ご芳志をお寄せ下さった皆様に、あらためて、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

先日、8月24日に岡谷ホテルにおいて、2600地区の米山記念と財団の研修セミナーが開催されました。黒田委員長さんと二人で、一日出席をして来ました。

午前10時半から東京北R・Cの坂下博康アドバイザーによる講演(米山関係)、午後1時から、2600地区財団副委員長の都筑文男さんを中心とした財団関係の講義をそれぞれ勉強して参りました。これからも種々の部門にわたって研修セミナーが開催されますが、英意出席をして勉強に励みたいと考えております。

さて、7月の例会で、宗教学者の山折哲雄さんのお話に触れましたが、今日も、先生のお話を引用して、日本人の宗教観の話をして見たいと思います。ある国際的な会議のとき、山折先生がとりに同席した韓国の同じ宗教学者の先生から、日本人の宗教観について、聞かれたそうです。

キリスト教では毎週日曜日に協会へ行ってミサに参加する。イスラム教は、一日に何回もお祈りをする。日本人はそう言うことは特になく、葬儀のとき、またお盆に先祖を祭って行事をするなど考えると仏教徒が多いのは認めるが、だからと言って日本人は他国に比べて、同じ宗教人であるように思えないと山折先生は答えたそうです。

ところが韓国の先生は、いやそうではない。外国からは、日本人は根本から、しっかりした仏教人であると観ているそうです。ふだん何かと言うと仏様に手を合わせる。寺院に行きつて拝み、お墓参りをする。日常の生活が、すべて、その思想の上に成り立っているとの事でありました。そして先生は、ひとつの童謡を例にとりて説明されました。

「夕焼小焼で日が暮れて、山のお寺の鐘がなる。お手々つないで皆かえろ、烏と一緒に帰りましょ」

この四行詩の歌であります。日本人なら誰でも知っている子供の頃から歌い継がれている歌であります。この歌の中に日本人の仏教観の大切なものが、全部歌い込まれているのだそうです。

「夕焼小焼で日が暮れて」あのまっかな夕焼けを見て、日本人は誰もが「あゝ、美しい、きれいな夕日だ」と顔をまっかに染めながら感動する。実はあのきれいな夕焼の向うに、これから誰もが必ず行くことになる来世を感じているのである。

「山のお寺の鐘がなる」鐘の音の合図で、仕事、学校、遊び、食事、等行動の切替を司取って生活をする。

「お手々つないで皆かえろ」一日の行動を切替えて、皆なの団らんの場合へやすらぎを求めて集って行く。

「烏と一緒に帰りましょ」やすらぎを求めて帰るのは、人間ばかりではありません。烏にたとえられた全ての生物も同じである。そして、生活のために遠くはなれた町で働いていた人間も、老いを感じる頃故郷が恋しくなりふるさとを求めようになる。

あのまっかな夕焼の向うに代々の先祖が集っている、やすらぎの場所を想像して、無意識のうちに感動するのが、日本人の仏教心であり仏教の大切な宗教観であると、先生は言っておられました。

ご静聴ありがとうございました。

【幹事報告】 清水良英 幹事

1. 佐久RCより「創立 35 周年記念誌」
2. 南佐久RCよりクラブ計画書
3. 週報

上田東、上田西、東御RC

本日の配布物

週報 1196・1197 号、理事会報告、充填未充填
職業分類一覧表、ロータリーの友 8月号

クラブ運営委員会 依田晋一郎 委員長
～ 納涼夜間例会の御礼～

【委員会報告】

クラブ広報・情報委員会 小池平一郎 委員
～ ロータリーの友 8月号の紹介～

ラッキー賞

NO13 桑原 邦夫 君

ニコBOX 渡辺文夫委員

小林秋生君	女系天皇についての御卓話、沼田先生よりご講演頂きます。ありがたく拝聴したいと思います。	桑原邦夫君	ゲストの沼田さん、ラッキー賞をありがとうございました。
橋詰希望君	渡辺和子さんより、ミャンマーの活動報告が届いています。	青松英和君	約2ヵ月ぶりの出席となります。皆様、ご無沙汰しております。
		清水泰男君	都合があり、早退します。

次週のプログラム：新世代活動月間によせて / 次々週のプログラム：バンコクの介護と教育事情

【出席報告】 橋詰 希望 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 8月27日	24	21	事前2名	3	87.50%
前々回 8月06日	24	22	事後0名	2	91.67%

【本日のプログラム】 「女性天皇・女系天皇」について

【講師】 小諸観光ガイド協会理事 沼田 豊久様

「女性天皇・女系天皇」について

皇室典範 第一章第一条

「皇位は、皇統に属する男系の男子が、これを継承する」

1. 女系天皇とは

万世一系 同じ系統の血筋が永遠に続くこと。

男系天皇 初代神武天皇から第125代今上(平成)天皇まで過去の女性天皇(十代八方)は全員が男系天皇です。

女系天皇

皇室典範の改定 小泉純一郎首相の私的諮問機関「皇室典範に関する有識者会議」

一例(私案) 「皇位は、皇統に属する第一子(男系、女系に関わらず、又男子、女子の別なく)これを継承する」

一例(私案) 「皇位は、皇統に属する男子(男系、女系に関わらず)、これを継承する」



海外の王室の王位継承は

- 英国の場合 「男女の別なく第一子が王位を継ぐ」
オランダの場合 「男系がまったく絶えた場合に限りて女系に移る」
スウェーデンの場合「男女の別なく第一子が王位を継ぐ」

日本の場合なぜ女性天皇・女系天皇がいけないか？ 過去の女性天皇にさまざまな問題があった！

2. 女性天皇

(1)三十三代 推古天皇(和風諡号 豊御食炊屋
姫尊、諱 額田部)

在位 36 年(592~628 年)飛鳥文化

父 欽明天皇

母 蘇我堅塩媛

夫 敏達天皇

権力者 蘇我馬子

摂政 厩戸皇子(聖徳太子)

(2)三十五代 皇極天皇(和風諡号 天豊財重曰
足姫尊、諱 宝皇女)

在位 3 年(642~645 年)飛鳥板蓋宮

父 茅渟王 祖祖父 敏達天皇

母 吉備姫王

夫 舒明天皇

権力者 蘇我入鹿 乙己の変

三十七代 齊明天皇 重祚

在位 6 年(655~661 年)飛鳥岡本宮

皇太子 中大兄皇子

白村江の戦

(3)四十一代 持統天皇(諱 鸕野讃良皇女)

称制 3 年(686~689 年)

在位 7 年(690~697 年)

父 天智天皇

母 遠智娘

夫 天武天皇

壬申の乱 夫と供に戦う

古事記・日本書紀 夫と供に編纂を始める

律令制度(中央集権国家)の確立

(4)四十三代 元明天皇(諱 阿陪内親王)

在位 8 年(707~715 年)

父 天智天皇

母 阿閼皇女

姉 持統天皇

権力者 藤原不比等

平城京遷都

風土記撰進

嫡子相承のため中継ぎ

(5)四十四代 元正天皇(諱 氷高)

在位 9 年(715~724 年)

父 草壁皇子 祖父 天武天皇

母 元明天皇

兄 文武天皇

権力者 藤原四兄弟

皇太子 首皇子が若年のため中継ぎ

(6)四十六代 孝謙天皇(諱 安倍)

在位 9 年(749~758 年)

父 聖武天皇

母 藤原光明子

権力者 藤原仲麻呂(恵美押勝)

恵美押勝の乱

四十八代 称徳天皇 重祚

在位 6 年(764~770 年)

権力者 弓削道鏡

道鏡の皇位継承事件

(7)百九代 明正天皇在位 14 年(1629~1643)

(諱 興子)

父 後水尾天皇

母 徳川和子

弟 後光明天皇の中継ぎ。

政治的には何の影響も無かった。

(8)百十七代 後桜町天皇在位 8 年(1762~1770)

(諱 智子)

父 桜町天皇

母 舎子

甥 後桃園天皇の中継ぎ。

政治的には何の影響も無かった。

以上の女性天皇達には様々な問題や、影には権力者達の影響による大事件等が有り。
特に、弓削道鏡事件は現在まで尾を引き、皇室典範の第一章第一条に付いては、
いまだ誰一人換える事も出来ない状態です。